

眼瞼悪性腫瘍手術における遊離瞼板移植の検討

1. 研究の対象

2018年1月1日から2025年9月30日までの間に高知大学医学部附属病院眼科を受診し、眼瞼の悪性腫瘍の診断で、遊離瞼板移植手術を受けられた患者さん

2. 研究目的・方法

私たちの診療科では、「眼瞼（まぶた）の悪性腫瘍」の手術後に行うまぶたの再建手術についての研究を行っています。まぶたの腫瘍を切除すると、まぶたの皮膚だけでなく、「瞼板（けんばん）」や「結膜（けつまく）」と呼ばれる内側の組織まで失われることがあります。これらはまばたきや目の表面の保護にとっても大切な組織で、失われたままでは角膜の傷や乾燥、視力の低下などにつながる可能性があります。

そのため、手術後にはまぶたを「見た目だけでなく、きちんと機能する形」に再建することが重要です。最近では、健康なまぶたから採取した瞼板を移植する「遊離瞼板移植」という方法が注目されています。この方法は、まぶた本来の構造と働きを再現しやすく、まぶたの安定性や目の保護機能の回復が期待できます。

本研究では、過去のカルテデータを参照し、この「遊離瞼板移植」を受けた患者さんの手術経過や治療結果、合併症の有無などをまとめて調べ、どのような効果や問題があるのかを明らかにすることを目的としています。研究は診療記録をもとに行い、患者さんへの新たな検査や治療が追加されることはありません。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2027年3月31日

利用又は提供を開始する予定日：2026年3月1日～

3. 研究に用いる情報の種類

以下の項目について調査を行い、そのデータを本研究に利用します

- ① 背景情報：生年月、性別、既往歴など
- ② 原疾患の状況：原疾患（悪性腫瘍）の病名、大きさなど
- ③ 治療前視力、治療後視力、角膜所見（傷の有無、障害度）など
- ④ 最終矯正視力、再発・転移の有無など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出くだ

さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知大学医学部附属病院 眼科 医員 中島勇魚

高知県南国市岡豊町小蓮

眼科医局 088-880-2391 眼科外来 088-880-2638

研究代表者・責任者：

高知大学医学部附属病院 眼科 医員 中島勇魚

高知県南国市岡豊町小蓮

眼科医局 088-880-2391 眼科外来 088-880-2638